

JSA 神奈川支部通信

No. 9 September 2025 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：https://jsa-kanagawa.jp、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ JSA 神奈川支部研究交流会「深刻になる異常気象」のお知らせ JSA 神奈川支部幹事会
- ◆ JSA 関東甲信越地区シンポジウム「生活と化学物質」のお知らせ JSA 関東甲信越地区会議
- ◆ 学習会：地球沸騰化を止めるために県行政、県民が出来ることは？ 平和で明るい県政をつくる会
- ◆ 県政ウォッチ・県内基地調査のお知らせ 平和で明るい県政をつくる会
- ◆ 第 40 回原子力発電問題全国シンポジウム 2025 京都の案内 JSA 原子力問題研究委員会、京都支部
- ◆ 桜木町駅前での参政党憲法構想案に抗議する行動でのスピーチ原稿とその後 後藤仁敏
- ◆ 「横浜市長選の状況や活動促進のつどい」を市民の市長をつくる会が開催 後藤仁敏
- ◆ 国立科学博物館特別展「氷河期展」の見学会のお知らせ 神奈川地学ハイキング

JSA 神奈川支部研究交流会「深刻になる異常気象」のお知らせ

JSA 神奈川支部幹事会

日本科学者会議神奈川支部は、支部研究交流会を「深刻になる異常気象－気候危機は打開されるのか」をメインテーマに、10 月 25 日(土)13 時から 17 時まで、JR 関内駅徒歩 5 分の横浜市技能文化会館で開催します。

日本では観測史上はじめてとなる 40 度をこえる気温が各地で記録され、地球温暖化による海水温上昇、偏西風蛇行、高気圧の発生などが明らかになっています。もはや、CO₂ の削減がまったなしになっているなかで、日本政府は火力発電を温存し、原子力の新增設を図って、太陽光、風力などの再生可能エネルギーの普及に背を向けています。

今回の研究交流会では気候危機の打開の筋道を考えます。また、同時に会員の専門性や問題意識を生かした、さまざまな話題提供をします。会員、会員でないにかかわらずどなたでも無料で参加できます。多くの皆さまの参加を呼びかけます。終了後、有志で懇親会を行います。

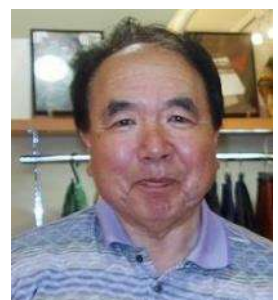
日時：2025 年 10 月 25 日(土) 13:00～17:00

会場：横浜市技能文化会館 603 会議室(045-681-6551)、参加無料

交通：JR 関内駅南口徒歩 5 分、地下鉄伊勢佐木長者町駅徒歩 3 分

記念講演 1：日本における環境影響評価法の歴史

石原 元 (株)W&I アソシエーツ 1950 年 2 月 16 日神奈川県生まれ、神奈川県藤沢市在住。秋田県大仙市に単身赴任中。1975 年東京水産大学増殖学科卒、1977 年同大学大学院修士課程修了。1990 年東京大学農学部農学博士。専門は



魚類系統分類学、進化・生態学。1993 年から 2013 年まで、国際自然保護連合 IUCN 種の保存委員会サメ専門家グループで北西太平洋の議長を務める。国内外で水産と環境の学際領域で活動、現在は秋田県の洋上風力発電事業の環境影響評価に従事する。フィールドは国内全域、海外 50 개국。

講演要旨

演者は約 35 年間にわたり民間・公共を問わず様々な事業の環境影響評価に従事して来た。現在は風力発電事業の環境影響評価に携わっている。その中で日本における環境影響評価の課題が明らかになって来たのでこの点についてお話しする。

現在でこそ環境先進国を自認している日本であるがその歴史は苦いものばかりである。1956 年に公式に発生が確認された水俣病は世界に類例を見ない身体に及ぶ公害病であり、新潟水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそくと合わせて日本の四大公害病と呼ばれる。水俣病の認定から 1967 年の公害対策基本法成立までに 11 年の年月が費やされている。典型七公害と四大公害病その他公害により高度経済成長時の日本はまさに公害先進国であった。日本では環境問題が先ず公害として出現し、その後に各種事業の環境影響評価という流れがあった。

総理府の外局として環境庁が発足するのが 1971 年、環境基本法の成立が 1993 年、環境影響評価法の成立は更に後の 1997 年である。環境庁が環境省に格上げされるのは 2001 年である。アメリカ合衆国で環境保護庁 United States Environmental Protection Agency が設立されるのが 1970 年、同国において National Environmental Policy Act 国家環境政策法が成立するのはその 1 年前の 1969 年である。日米間では環境影響評価法の成立に約 30 年の時間差がある。

わが国環境影響評価法の課題として、大きくは 3 つあげられる。先ず、この法律は事業による環境影響を標榜しつつも事業実施の可否を判断する有効な手段がなく、単なる手続き法になっている。次に、事業開始後に事業前の環境状態と比較する手段はほとんどなく、事業開始後に環境が改悪された場合でも事業を中止させることが事実上不可能である。最期に日本の環境影響評価は対象が自然環境（生物環境と物理環境）一辺倒であるため、社会環境に対する配慮がなく、事前に住民その他ステークホルダーとの調停がなされる事がない。問題が起きた時には事業が成立しているのである。

記念講演 2：気候危機を止めるための視点と行動

山本大貴 record 1.5 2003 年東京都生まれ、慶應義塾大学総合政策学部在籍。当時高校 1 年生の際に参加した、令和元年東日本台風（2019 年）での災害ボランティアの経験をきっかけに危機感を感じ、翌年の 2020 年 4 月から気候変動対策の欠如を訴えるムーブメント「Fridays For Future」にオーガナイザーとして参加。2021 年 4 月には、日本の 2030 年温室効果ガス削減目標の引き上げを求めて学校ストライキを実行した。また、音楽ライブイベント「Climate Live」の日本チーム「Climate Live Japan」で共同代表を務め、同月に開催した。



その後も気候危機に関する様々な市民ムーブメントに携わり、2022 年には気候危機を記憶する発信型ムーブメント「record 1.5」を立ち上げ、主に映像や音声コンテンツを通して様々な当事者の声や危機感を共有し、解決に向けた対話を目指す発信をしている。（引用 <https://power-shift.org/ambassador08>）

講演要旨

世界は産業革命前からの平均気温上昇を 1.5 度に抑えるため、化石燃料からの脱却や再生可能エネルギーへの移行を進め、温室効果ガス（GHG）削減を急いでいますが、そのスピードは不十分です。日本も 2050 年カーボンニュートラルを掲げていますが、世界第 5 位の排出大国として、この数年で急速な削減を行う責任があります。「2050 年達成＝成功」ではなく、今この瞬間の行動こそが重要です。

こうした現状を話すと、「やはり無理ではないか」と落胆する声も出ます。しかし、GHG 削減を阻む最大の要因は技術ではなく、政治です。

昨年から今年にかけて、新たなエネルギー基本計画や地球温暖化対策計画の改訂が行われました。本来なら丁寧な議論が不可欠ですが、政府審議会では複数のシナリオや意見が示されたにもかかわらず、結論ありきで進む様子が見られました。エネルギー政策は複雑で、計算の前提や数値設定によって結論は大きく変わります。NGO や研究機関からは、より急速な削減と経済性を両立できる提案も出されていましたが、中心となったのは再エネを過小評価し、火力発電依存を長引かせるシナリオで、経団連などが支持していました。

さらに、日本では再エネに対するネガティブなイメージが広がり、推進見直しを訴える政治家も増えています。一部、ネット上などでは、再エネ事業を外国勢力の陰謀とする根拠のない言説まで流布されています。

2025 年度の気候・エネルギー予算を見ると、化石燃料関連が全体の 38%を占める一方、再エネはわずか 4%にとどまります^{*1}。再エネ投資は圧倒的に不足しており、化石燃料依存を前提に補助金を注ぎ込み続けることは、将来的な経済負担をむしろ大きくします。

一方、産業革命が始まった国であるイギリスは昨年、G7 で初めて石炭火力を廃止し、再エネ比率を大きく伸ばしています。イギリスには、政府から独立した「気候変動委員会」が科学的根拠に基づき政府に助言を行う仕組みがあります。制度設計と政治の姿勢が、対策の成否を左右する好例です。気候危機は、人権問題です。最大の被害を受けるのは、小島嶼国やグローバルサウスの人々、子どもや高齢者など、脆弱な立場にある人々と、これから生きる将来世代です。構造的な不平等に目を向け、迅速かつ公正な政治判断を進めることで、私たちはこの未曾有の危機に立ち向かうことができます。

^{*1} : Climate Integrate レポート「日本の気候・エネルギー予算 2025 : 政府予算と GX 投資の分析

【話題提供】

1 再生エネルギーで脱炭素は可能なのか（仮題） 歌川 学

東北大学大学院工学研究科機械工学専攻博士前期課程修了。産業技術総合研究所主任研究員。博士（工学）。専門は機械工学、環境工学で温暖化エネルギー対策普及の評価、国・地域の温暖化対策シナリオ研究に従事。著書に『スマート省エネ』（東洋書店）、『入門 再生可能エネルギーと電力システム』（日本評論社、分担執筆）、『地域分散型エネルギーシステム』（日本評論社、分担執筆）など。

2 神奈川地学ハイキング 70 回の歩みー1 人でもできる普及活動 後藤仁敏

東京教育大学理学研究科修士課程地質学鉱物学専攻修了。東京医科歯科大学（現、東京科学大学）歯学部口腔解剖学教室助手、鶴見大学歯学部解剖学教室講師・助教授、鶴見大学短期大学部歯科衛生科教授、鶴見大学名誉教授を歴任。専門は、古生物学、歯学、解剖学。著書に『唯臓論』（中公文庫）、『歯の比較解剖学』（医歯薬出版、共著）、『図説 歯からみた生物の進化』（朝倉書店）など。

3 横須賀石炭火力発電所の建設反対運動とその後……」（仮題） 鈴木陸郎

「エネルギー問題を考える横須賀の会」共同代表（横須賀石炭火力を考える会から改組）。若いときに川崎に住んでいました。その時の川崎というと、もう公害の街と言われていたんですね。…大気汚染物質というのは。目に見えないのに病を起こすというそういう経験もあって、そういう思いは他の人にしてほしくないというのはとても強く思っています。 https://foejapan.org/issue/staffblog/2018/12/06/yokosuka_2

4 ブラックホールは白くなる 北山宏之

静岡大学理学部物理学学科卒業 卒論テーマ：場の量子論。大阪大学大学院工学研究科博士課程終了学位（工学）テーマ：有機固体のキャリア移動に関する研究。キヤノン（株）社内の主な仕事内容：複写機開発センター、液晶デバイス開発部、中央研究所、知的財産課などで、主に複写機感光体の開発、液晶ディスプレイや有機 EL ディスプレイの研究・開発・特許業務に従事。JSA 神奈川民間企業会員懇談会。

5 繰り返す水道料金の値上げ—生存権は保障されるのか 飯岡ひろし

東京都台東区金杉生まれ、大都市の水道事業で技術職として働く、地球温暖化対策の実務に携わる。働きながら駒澤大学法学部法律学科、横濱市立大学大学院国際文化研究専攻、博士後期課程単位修得満期退学、専攻は都市と水道事業の社会史、SUW 研究所代表、水資源・環境学会理事、エネルギー管理士（電気）、著書は『相模川流域誌』（共著）など。

JSA 関東甲信越地区シンポジウム「生活と化学物質」（9月6日）のお知らせ

日本科学者会議関東甲信越地区会議

コロナ禍で長く中断しておりましたが、このほどようやく関東甲信越地区シンポジウムを開催することになりました。メインテーマは「生活と化学物質—化学物質の有害性と化学物質に頼らない暮らしはできるのか（仮）」です。会場とオンラインの併用での開催です。多くの皆様の参加を呼びかけます。

テーマ「生活と化学物質—化学物質の有害性と
化学物質に頼らない暮らしはできるのか
（仮）」

日時：2025年9月6日（土）13:30～17:00

会場：中央大学茗荷谷キャンパス B1C16 教室（定員：212人） ハイブリットでオンラインでの配信も予定しています。詳細は日本科学者会議 (<https://jsa.gr.jp>) または、神奈川支部 (<https://jsa-kanagawa.jp>) のホームページをご参照ください。

交通：東京メトロ丸の内線茗荷谷駅徒歩1分

参加費：無料

■第1部 講演と質疑応答

13:30 講演1（40分）：マイクロプラスチック汚染（仮）
高田秀重さん（東京農工大学名誉教授、東京支部）

14:30 講師2（40分）：化学物質過敏症（から子どもを守る）/環境ホルモン
北條祥子さん（尚絅学院大学名誉教授、宮城支部）

■第2部 化学物質と私たち—様々な立場からの発言・提言と討論

15:40 地域・市民・消費者運動から
化学物質過敏症：栗生田博子さん（元新潟県内私立大学教員）、



〒112-8631 東京都文京区大塚1-4-1

Access

東京メトロ丸の内線 茗荷谷駅 徒歩1分

その他(検討中)；子どもと化学物質一家庭科教育の現場から/香害をなくす(消費者団体)/女性団体の取り組み/化学物質から身を守る、など。

16:45 まとめ・閉会挨拶 その後希望者は懇親会(茗荷谷駅近辺)。

主催：日本科学者会議関東甲信越地区会議

学習会：地球沸騰化を止めるために県行政、県民が出来ることは？の案内

平和で明るい神奈川県政をつくる会

7～8月は連日「危険な暑さ」と報道され、対処が声高に言われますが、根本的な対策が報道されることは多くありません。でも、多くの人がこのままではヤバイと思っているのではないのでしょうか。神奈川県政においても重要な課題になると考え、JSA 神奈川支部も参加する「平和で明るい神奈川県政をつくる会」として、学習会：毎日、毎日、危険な暑さ。どうなっちゃうの？「地球沸騰化」を止めるために県行政、県民が出来ることは？」を企画しました。世界や日本のとりくみの現況や課題を知り、県行政や企業などは何をすべきなのか、県民はどのような役割を発揮すれば良いのか、などについて一緒に学び・考えてみませんか。お待ちしております。

日時：9月23日(火・休) 13:30～16:30(予定)

会場：かながわ労働プラザ 4F 会議室(JR石川町駅徒歩5分)

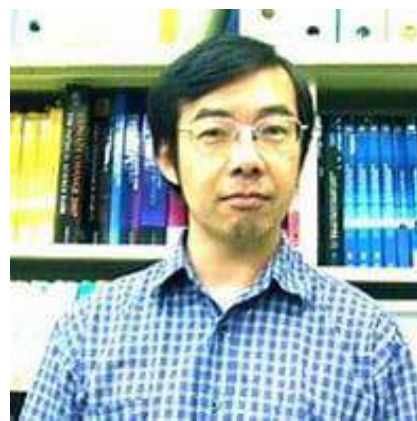
講師：歌川 学さん(産業技術総合研究所キャリアエキスパート)

略歴と研究の主要分野：東北大学大学院工学研究科機械工学専攻博士前課程、修了。通産省公害資源研究所入所、その後改組で産業技術総合研究所。専門は機械工学、環境工学で温暖化対策、省エネ対策の技術選択評価、対策シナリオ研究に従事。

講演内容(予定)：世界や日本の気候危機へのとりくみ状況と課題、神奈川県の「地球温暖化対策条例・計画」の評価と課題、「地球沸騰化」に対して、県行政・県民は何をすべきか・できるのか

参加費：無料 事前申込みの必要はありません

主催：平和で明るい神奈川県政をつくる会(問合せ：神奈川労連(山田) [TEL:045-212-5855](tel:045-212-5855)、メール：[info\(at\)kanagawa-rouren.jp](mailto:info(at)kanagawa-rouren.jp))



県内基地調査・県政ウォッチのお知らせ

平和で明るい神奈川県政をつくる会

2027年4月の県知事選挙に向けて、JSA 神奈川支部も参加する「平和で明るい神奈川県政をつくる会」では、県政ウォッチ・県内基地調査を実施します。内容は、戦争遂行のための強化が進められている横浜ノースドック、横須賀米海軍基地、米軍厚木基地の調査です。横須賀では船に乗って間近に米

海軍基地を見ます。多くの皆様の参加を呼びかけます。

日時：9月25日（木）9:00～16:00

集合：9時に桜木町駅市役所側改札を出た広場に集合

コース（予定）：9時15分：タワー展望場からノースドック視察、11時：横須賀米軍基地を船から視察、12時：厚木基地に向けて出発、途中のPAで昼食、14時：厚木基地の視察、15時：大和駅を經由して横浜駅西口に出発

参加費 4000 円（高校生以下 2000 円）乗船料を含む 要予約

予約方法：神奈川労連・山田（電話 045-212-5855、Fax. 045-212-5745、E-mail：info(at)kanagawa-rouren.jp）に名前、所属、携帯電話とメールアドレス、住所を連絡ください。



横須賀に入港した米原子力空母

第40回原子力発電問題全国シンポジウム 2025 京都のお知らせ

日本科学者会議原子力問題研究委員会、日本科学者会議京都支部

日本科学者会議 60 周年記念・第 40 回原子力発電問題全国シンポジウム 2025 京都：放射線被ばくの危険性と原発の実態が、8 月 24 日に会場とオンラインのハイブリッドで開催されます。多くの皆さんの参加をお願いします。

第 40 回原子力発電問題全国シンポジウム 2025 京都：放射線被ばくの危険性と原発の実態

日時：2025 年 8 月 24 日 10 時～17 時

会場：龍谷大学深草学舎 21 号館 301 教室 開催方法：ハイブリッド

交通：京阪本線深草駅徒歩 10 分、京都市営地下鉄くいな橋徒歩 15 分

Zoom で参加される方は参加の登録をお願いします。 <https://forms.gle/Hc4Uf6wHfHN5wEEDPyjf6>

資料代：500 円

プログラム：司会者あいさつ 大倉弘之・山田耕作、開会あいさつ 前田耕治

第 1 テーマ 原発の危険性と廃棄への道

午前の報告 木原壯林(京都工芸繊維大学名誉教授)「原発依存をやめ、自然エネルギーに転換しよう！」、
乾康代(元茨城大学教育学部教授)「東海村と植民地主義開発－日本の原子力開発黎明期の特質」、
お昼休憩

午後の報告 花島進(元日本原子力研究所)原子力を支えるべき基礎技術－技術力の問題を東海第 2 原発他の事例から見る」

山本雅彦(日本科学者会議原子力問題研究委員会委員長)「原発廃棄物のリサイクルと廃炉について」

第 2 テーマ 放射線被ばくの被害の実情と課題

市川章人(日本科学者会議京都支部)「住民防護対策の相次ぐ後退－翻弄される住民の命と自治体」
休憩

大倉弘之(京都工芸繊維大学名誉教授)「異常増加を続ける福島甲状腺がんと、隠され続ける被ばく影響」

山田耕作(京都大学名誉教授)「福島原発事故による内部被ばく被害の実情－全てのヒバクシャに被ばく健康手帳を配布せよ」

総合討論、討論のまとめ、閉会あいさつ 山本雅彦（日本科学者会議原子力問題研究委員会委員長）

Zoom 参加の登録：URL <https://zoom.us/meeting/register/TldEnemIQxWiH-QVL-flmw>

主催：日本科学者会議原子力問題研究委員会 (<https://jsa.gr.jp/committee/genshi.html>)、日本科学者会議京都支部 (board(at)sakura.ne.jp)

桜木町駅前での参政党憲法構想案に抗議する行動でのスピーチ原稿とその後

後藤仁敏

桜木町駅ご利用の皆さん、私は東京医科歯科大学（今は東京科学大学といいますが）歯学部と鶴見大学歯学部と歯科衛生科で、解剖学を 50 年近く教えてきた後藤と申します。

今回の選挙で、私が一番心配していることは、幾つもの政党が選挙を利用して、外国人差別と排外主義を煽っていることです。私はこの春、上野の国立科学博物館で「古代 DNA 展」を見てきました。これまで単系統と考えられてきた縄文人の DNA を調べると、アジア大陸の南から、西から、北から、氷河時代に凍った海を渡って日本にきた由来の異なる人びとの DNA をもっていることが分かってきました。さまざまな由来の人びとが 1 万年間海で囲まれた日本列島にいっしょに棲んでいるうちに、仲良くなって同じような顔つきになってきたのです。

また、その後の時代の人骨に残された DNA を調べると、従来分かっていた弥生時代の初めだけでなく、古墳時代以降も継続的に大陸や半島から渡来人が来て、日本にさまざまな技術や文化を伝えて来たことが分かってきたのです。つまり、長い時代にわたってアジアの各地から次々に来た多様な人びとが、日本列島で仲良く一緒に暮らしてきて、私たち日本人が形成されたのです。そして、現在ほど日本列島に多くのさまざまな由来をもつ人びとが暮らしている時代はありません。今後も、由来の異なる人びとが一緒に仲良く暮らしてゆくことこそ、日本の進むべき道ではないでしょうか。

国連の広報センターが「ホロコースト（ユダヤ人の大量虐殺）はガス室から始まったのではない。少数者へのヘイトスピーチから始まった」と警告しています。言葉は人を殺すことがあるのです。差別と排外主義を煽る政党は大変危険です。それは戦争への道につながっています。多様性を認めることが平和への道です。

人間にはファーストもセコンドもありません。どうか、外国人差別を煽る政党にくれぐれもご注意ください。さるよう心から訴えます。

私は参政党の新日本憲法（構想案）を見てたいへん驚きました。前文に「天皇はいにしえより国をしらすこと悠久」とあります。ヤマト王権が形成されたのは古墳時代になってからで、それ以前の弥生時代にも縄文時代にも天皇はいませんでした。日本の歴史を否定しています。また、「天皇は元首」とされ、「国は主権を有し」とあって、国民主権を否定しています。教育については戦前の教育勅語や愛国心を「尊重しなければならない」とあり、教育基本法を否定し、戦前の愛国教育を復活させようとしています。「自衛軍を保持する」として、平和憲法を否定しています。

日本国憲法が保障している基本的人権も、個人の尊厳も、思想・良心の自由も、集会・結社・表現の自由も、学問の自由も、生存権もありません。憲法学者の木村草太氏は「規範の表現というよりも、自分たちの使いたい言葉を切り張りしただけという印象を受ける。まるで怪文書のようなものです」と言っています。清水雅彦氏は「憲法の基本概念を理解せず、素人がつくった草案。戦前回帰と指摘されるが、大日本帝国憲法にも及ばないお粗末な内容だ」と評価しています。

このような憲法を掲げている政党はたいへん危険です。どうかその正体をしっかり見抜いてくださ

るようお願いします。

以上は、2025 年 7 月 18 日夕方の桜木町駅での参政党に抗議する行動での私のスピーチ原稿ですが、選挙結果は、私たちが心配したとおり、参政党が大躍進を遂げ、神奈川でも参政党候補が公明党現職候補を抜いて 4 位で当選を果たしました。埼玉でも愛知でも公明党の現職が落ちて参政党の新人が当選しました。比例票では、野党第 1 党は国民民主党、第 2 党は参政党で、立憲民主党は議席数では 1 人区での共産党・社民党などとの共闘で野党第 1 党ですが、比例票では野党第 3 党となりました。今回の参院選の比例票では、1 位が 1280 万票の自民党、2 位が 762 万票の国民党、3 位が 742 万票の参政党、4 位が 739 万票の立民党、5 位が 521 万票の公明党、6 位が 437 万票の維新、7 位が 387 万票のれいわ、8 位が 298 万票の保守党、9 位が 286 万票の共産党、10 位が 151 万票のみらい、11 位が 121 万票の社民党でした。自民公明だけでなく共産党も含めて既成政党がのきなみ票を減らしているのに対し、参政党、国民党、れいわなどの新しい政党が支持を拡大しています。立憲野党では、社民党がかろうじて得票率 2% の政党要件を満たしたのが、せめてもの救いでした。

このことについては、7 月 28 日の全国革新懇代表世話人会でも議論され、7 月 31 日に東京新聞では中島岳志さんが論壇時評を書いています。中島さんは、参政党の勝因は、消費税の段階的解消や 15 歳までの子どもに対する毎月 10 万円の給付金支給を主張、オーガニックの重要性を説き、食と健康、環境安全を重視する政策を主張したのが、無党派層で過度な競争にさらされてきた若い世代に支持されたからだと述べています。

全国革新懇では、自公政権によってこれまで自分の収入が少なく生活が苦しい原因は自分の責任だとする自己責任論・自助努力論を受け入れさせられた来た若い世代が、参政党の主張で、そうではなかった、悪いのは自分の責任ではなく、優遇されている外国人や高齢者や生意気な女たちのせいだと思ふようになったことは、一歩前進と見るべきだとの意見がありました。さらに進めば、自分が苦しい原因が、外国人や高齢者ではなく、500 兆円もの内部留保を溜めこんでいる大企業と優遇税制に助けられている大金持ちだということに気づくのではないかと、とのことでした。

したがって、参政党の躍進には理由があり、それを既成政党は真摯に分析し、学ばなければならないのです。既成政党は、ただ批判するだけでなく、自らの主張が若い世代になぜ受け入れられなかったのか、深く反省することが必要です。そして、自己責任論・自助努力論で、コスパ、タイパ、経済的効率性、競争心を煽って、人間の自由と人権を抑圧する日本社会を改め、働きがいと生きがいのある、より良い人間関係と社会生活を実現するよう努力することが求められていることを、粘り強く説明し続けることが求められているのではないのでしょうか。

「横浜市長選の状況や活動促進の集い」を市民の市長をつくる会が開催

後藤仁敏

「横浜市長選の状況や活動促進のつどい」を市民の市長をつくる会が開催 2025 年 8 月 3 日の横浜市長選に向けて、市民の市長をつくる会が「市長選の状況や活動促進のつどい」を市民の市長をつくる会が 7 月 22 日に開催し、約 20 名が各区・各団体から参加しました。

はじめに代表委員の私が「参議院選挙が終わり、市長選が始まった。自民党には三度驚かされた。一度目は 4 年前の市長選でこれまで IR カジノを強行してきた小此木候補が突然、IR 誘致の取り止めを掲げたことだ。2 度目は 2 年前の市議選で、自民党市議団がこれまでのお母さんの愛情弁当から暖かくて美味しい給食に変わったことだ。3 度目は今回の市長選で。これまでさんざん個人攻撃

その後、市民のための横浜市政を進める会（以下、進める会）の政村修事務局長が、市長選の状

続いて、構成団体から次々に取り組みの報告がありました。横浜市従労組は山中支持を決定、自治労連と共に、8月1日に支持行動をする。年金者組合は18支部に補聴器助成や敬老パス、地域交通を充実する山中支持の声明を伝えた。横浜労連は公契約条例の制定をめざして、山中支持の取り組みを進めている。最後に菅野隆雄事務局長の発声により、参加者全員で選挙に勝とうとコールをしました。

なお、当日、市長選にあたって作成された「市民の市長をつくる会ニュース 247 号」(前頁)が参加者に配布されました。山中市政の 4 年間の実績と進める会からの 7 項目の市政要望が掲載されています。

カジノ撤回した市長!

子ども医療費助成 中学生まで実現

このチラシは、市民の市長をつくる会が山中町市長の公約内容を分析したものです。

この4年間の主な実績

子どもの医療費ゼロ

(0歳～中学校卒業まで)

2023年8月から子ども医療費0歳から中学校卒業まで完全無料化しました。

敬老バス自己負担ゼロ

(75歳以上)

2025年度から75歳以上の高齢免許返還納者に対しては無料化(3年間)、タクシー会社等が運行する地域交通にも適用することにした。

出産費用ゼロ

(基礎的費用)

出産費用は2024年4月1日から国からの助成に9万円上乗せし、上限59万円まで助成することにした。

山下町頭再開発事業

2021年9月議会に「カジノ誘致事業は撤回することを表明し担当委員の廃止を決定。山下町頭再開発はバドミントンワークショップなどを併設し、市民意見の募集を行う。再開発採決委員会に学識経験者と地元団体も参加しました。

その他の主な公約の内容

- ① コロナ対策などは、ワクチン接種の促進化やPCR、抗原検査を促進、介護サービス充実、高齢への支援や難民救済の促進などをしました。
- ② 後援児童・後援児童の募集などは、後援児童の募集は2025年度までは0歳を定めました。
- ③ 中学校や大学の全入支援は、2026年度よりデリバリー方式で実施予定。
- ④ 地震、風水害等の災害対策強化は、2024年12月に所定に「南海トラフ地震」を策定。災害対策を強化、防災施設の増設や避難所の改善などを進める。
- ⑤ オペラ庁の建設の中には、オペラ座は当面後すぐに中止を決定し615万円の予算の削減を予定しています。

こうした公約の約束の一方で市民の要望やこれまでの市議員などから中学で給食の無償化、再建の困難な子育てや大型商業などは私たちのおいとは言いがまです。

新選は市民のための政治市政改革の会が市長選挙の費用負担を示したものです。

市民の市長をつくる会ニュース 発行 市民の市長をつくる会 発行日 2025年7月

247号 (発行機関) 代表 橋本正史 編集長 山崎 祐子 編集委員 山崎 祐子 橋本正史と学芸会 電話 045-602-1696 FAX 045-204-9644

[illegible]

国立科学博物館「氷河期展」の見学会のお知らせ

神奈川地学ハイキング

2025 年 7 月 12 日から 10 月 13 日まで、上野の国立科学博物館で特別展として「氷河期展・人類が見た 4 万年前の世界」が開催されています。

地球温暖化、地球沸騰化の暑い夏に相応しい行事となっています。246 万年までに始まった氷河期にタイムスリップして、その時代の大型動物たち、ネアンデルタール人とクロマニヨン人という人類、旧石器時代の日本列島の人類と自然、浜北人と港川人の人骨化石や石器などについて見てみませんか。また、なぜ寒冷化な氷期と温暖な間氷期が幾度も繰り返したのか、その原因について考えてみませんか。そして、これからの地球は寒冷化するのか、このまま温暖化・沸騰化するのか、考えてみましょう。

本展では、ドイツのライス・エンゲルホルン博物館所蔵のマンモス、オオツノジカ、バイソン、ホラアナライオン、ホラアナグマ、ケサイなどの巨獣の骨格と生体復元、パリ国立自然史博物館所蔵のネアンデルタール人とクロマニヨン人の頭骨と復元模型と石器など、野尻湖ナウマンゾウ博物館所蔵のナウマンゾウの復元骨格と化石、オオツノジカの化石が展示されています。

神奈川地学ハイキング・神奈川野尻湖友の会の合同行事として、9 月 27 日に見学会を開くことにしましたので、多くの皆様の参加を呼びかけます。



第 70 回神奈川地学ハイキング・神奈川野尻湖友の会合同行事：国立科学博物館特別展氷河期展・人類が見た 4 万年前の世界の見学

日時：9 月 27 日（土）10:00～12:00 集合：国立科学博物館入口前に 10 時に集合

交通：JR 上野駅公園口徒歩 5 分、雨天決行 案内：後藤仁敏（古生物学者）

持ち物：筆記用具、水分、当日券代など 当日券：大人・大学生 2300 円、小・中・高校生 600 円

主催：神奈川野尻湖友の会・地学団体研究会神奈川支部 問合せ：電話 090-7175-1911、E-mail: goto(at)kd5.so-net.ne.jp 後藤仁敏

行事案内

☆8 月 21 日（木）13:30～16:30 **多能性細胞（ES 細胞、iPS 細胞）からいのちを生み出せるのか？** 講師：斎藤通紀さん（京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点（ASHBi）拠点長）生殖細胞発生機構の解明とその試験管内再構成、加藤和人さん（大阪大学大学院医学系研究科教授）IVG 研究の倫理的・社会的課題について コメンテーター：天笠啓祐さん（ジャーナリスト） 司会：島蘭進さん（東京大学名誉教授） 参加費 Zoom 代 1000 円 後日期間限定の逃がし発信あります。Zoom の方の事前申込み：Zoom 参加希望者は下記必要事項明記の上 8 月 19 日まで申込みください。申込み時の必要事項は名前、職業、電話番号、メールアドレス 申込み先 E-mail: jreikochan@yahoo.co.jp またはこちらから→<https://forms.gle/ZjQGGiN854jgMQmr9> アドレスに返信確認メールを送ります。アドレスは間違えないよう返信時確認ください。Zoom 参加の方は事前に下記へ振込みください。郵便局からの送金の場合：口座番号 10290-70860881 他行からの送金の場合：ゆうちょ銀行 028 店（ゼロニハチ）普通 7086088 口座名義 神野玲子 当日の詳細案内：Zoom 参加申込みされた方には 8 月 18 日ごろに ZOOM の URL 等を案内します。主催：ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/> 問合せ：090-2669-0413 神野玲子

☆8 月 22 日（金）～24 日（日）10:00～18:00（24 日は 17 時まで） **2025 原爆と人間展** 会場：新都市プラザ（横浜駅東口そごう横浜店地下 2 階入口前） 入場無料 主催：運営委員会

- ☆8月22日(金)18:00～ 憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を！ #総がかり署名街宣 場所：新宿駅東南口 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲N0！全国市民アクション
- ☆8月23日(土)9:30～17:00 第59回神奈川夏の教育研究大会 会場：湘南学園小学校（小田急線鵠沼海岸駅徒歩7分） 記念講演「デジタル環境の中で子どもたちの育ちは今」 中西新太郎（横浜市立大学名誉教授） 分科会 参加費：教職員1500円、一般・学生500円 主催：県民間教育研究団体協議会 問合せ：080-6739-8003
- ☆8月23日(土)18:00～21:00 「沖縄・琉球弧の声を届ける会」連続講座第3回 辺野古新基地問題これまでとこれから 会場：沖縄大学本館1階同窓会館とオンライン 資料代500円 徳田博人（琉球大学教授）、加藤裕（弁護士）、具志堅隆松（沖縄戦遺骨収集ボランティアガマフヤー）、阿部悦子（辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会共同代表） 主催：沖縄・琉球弧の声を届ける会 共催：沖縄大学 連絡先：090-6868-6232
- ☆8月23日(土)10:30～13:00 戦争を語り継ぐつどい 会場：みどりアートパーク地下リハーサル室(JR長津田駅徒歩5分) 平和の詩。私の戦中、戦後。折り鶴。絵本の朗読。歌。参加費無料 主催：年金者組合横浜緑支部 問合せ：090-7288-2229（塩野さん）
- ☆8月24日(日)13:30～16:30 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会第3回総会 会場：さくらリビング第1研修室(桜木町駅南口徒歩6分) 第1部：記念講演 トランプ大統領の高額関税・軍事費増額要求で世界・日本はどうなる～問われる日本政府の対米従属からの脱却 萩原伸次郎（横浜国立大学名誉教授、神奈川県学習協会会長） 第2部：連絡会総会 報告 揚陸艇部隊配備反対の闘いの経過と今後の取り組み 飛田久男 問合せ：045-231-0103（神奈川平和委員会）
- ☆8月25日(月)10:00～11:30 ふじさわ教育署名スタート集会 会場：Fプレイス304会議室(JR藤沢駅徒歩11分) テーマ：不登校について 参加費200円 問合せ：0466-26-1980（新日本婦人の会藤沢支部）
- ☆8月26日(火)10:00～15:00 親と子の原爆展 会場：湘南台アートスクエア(湘南台駅地下1階広場) 問合せ：0466-88-3643（神奈川土建湘南支部）
- ☆8月27日(水)18:20～ 第3回安保講座：米兵犯罪から地位協定を考える～日常生活から考える地位協定の実態 会場：横浜市健康福祉センター8階会議室(桜木町駅徒歩3分) 講師：中村晋輔弁護士（横浜合同法律事務所） 主催：神奈川県平和委員会、神奈川労連、神奈川県学習協 問合せ：045-231-0103
- ☆8月29日(金)14:00～16:00 高津区原爆展プレ企画「落語とミニコンサートのつどい」 会場：てくのかわさきホール(JR武蔵溝ノ口駅徒歩5分) 落語：寝床屋道楽さん「ああ 東京大空襲」 愛と平和のミニコンサート、桜井純恵さん。被爆者からの証言、木戸キコ子さん。主催：原水爆禁止高津区協議会 問合せ：090-1730-8927（竹内さん）
- ☆8月29日(金)18:00～ 憲法9条改憲N0!ウィメンズアクション 場所：JR有楽町駅イトシア前 主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会 性差別撤廃Project Team
- ☆8月30日(土)13:00～ 夏の大学学習会「トランプ関税と日本の進路」 会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口徒歩5分） 講師：萩原伸次郎（横浜国立大学名誉教授） 主催：日本共産党神奈川県後援会 問合せ：045-324-6030
- ☆8月30日(土)13:30～ 記念講演「韓国の民主主義と大統領選挙」 会場：横浜平和と労働会館（桜木町駅徒歩7分） 講師：今野耕太（日朝協会事務局長） 資料代500円 主催：日本コリア協会神奈川 問合せ：045-581-3697
- ☆8月30日(土)15:00～16:30 水野もと子国政報告会 会場：横浜市開港記念館（みなとみらい線日本大通り駅徒歩3分） 会費1000円（資料代として） 終了後、懇親会（横浜中華街・皇朝茶楼予定）実費5000円程度 水野もと子国政報告、特別講演：長谷川祐弘氏（元国連事務総長特別代表）、音楽家 杉山公章さんによる歌とエール 申込み：水野もと子事務所（Fax.045-324-6030、Tel.050-888-8488、E-mail.contact(at)mizunomotoko.com）へ国政報告会への出欠と懇親会への出欠と、名前、住所、メールアドレスか電話番号をお知らせください。
- ☆9月1日(月)～5日(金)9:00～17:00（最終日は16時まで） 第21回鶴見区親と子の原爆パネル展 会場：鶴見区役所1階区民ホール（JR鶴見駅徒歩9分） 入場無料 主催：実行委員会 問合せ：090-9852-0031（岩森さん）
- ☆9月1日(月)～5日(金)9:00～17:00（初日は11時から、最終日は15時まで） 第28回高津区原爆展 会場：高津区役所ロビー（JR武蔵溝ノ口駅徒歩5分） 入場無料 主催：原水爆禁止高津区協議会 問合せ：090-1730-89217（竹内さん）
- ☆9月5日(金)18:30～ 講演会「対米従属から自立へ」 会場：多摩市民館大会議室（小田急線向ヶ丘遊園駅徒歩5分） 講師：布施祐仁（ジャーナリスト） 資料代800円 主催：実行委員会 問合せ：044-931-3336（神奈川県土建川崎西支部）
- ☆9月6日(土)13:30～ 新かながわ創刊60周年記念講演とシンポジウムー県民のたたかいと新かながわの役割 会場：波止場会館（みなとみらい線日本大通り駅徒歩5分） 参加無料 講演：中西新太郎さん（横浜市立大学名誉教授） シンポジウム：パネラー 藤井建男元編集長、山本広志県委員会書記長、高橋勝也神奈川労連初代事務局長、渡部慶子新日本婦人の会元県本部事務局長、菅沼幹夫県平和委員会事務局次長 主催：新かながわ社・共産党県委員会 問合せ：045-334-7867
- ☆9月10日(水)18:00～20:30 今こそ要求にもとづく共闘を一激動する情勢のもとでの運動交流会 会場：全労連会館2階ホール（御茶ノ水駅徒歩10分） 講演：五十嵐仁代表世話人（法政大学名誉教授）「激動する政治状況のもとでの統一戦線運動」 報告・討論：賛同団体の要求と共同の取り組み 意見交換 問題提起 主催：全国革新懇、労働者教育協会 問合せ：03-6447-4334

- ☆9月11日(木)13:00～ **神奈川革新懇夏の活動交流会** 会場：川崎市総合自治会館ホール(武蔵小杉駅徒歩5分) 全体集会 講演：小田川義和(全国革新懇事務室長)「参議院選挙の結果と革新懇の役割」 報告と提案、松平さんのトランペット、署名隊、革新懇づくりや世代継承についての発言 分科会：憲法、平和、地方経済、年金、社会保障、ジェンダー平等の6会場に分かれて全員発言 参加費500円 主催：神奈川革新懇 問合せ：080-5931-8175
- ☆9月19日(金)18:30～ **武力で平和はつくれない！強行採決から10年 戦争法廃止！9.19国会正門前大行動** 場所：国会議事堂正門前 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション
- ☆9月23日(火・祝) **さようなら原発1000万人アクション** 東電・福島第一事故から早くも14年が過ぎました。さようなら原発1000万人アクションは、この秋、脱原発と気候正義のために声をあげます。主催：「さようなら原発」一千万署名 市民の会 問合せ：さようなら原発1000万人アクション実行委員会(03-5289-8224)
- ☆9月23日(火・祝)13:00～17:00 **第20回シンポジウム 歴史教科書・いままでとこれから 戦後80年と歴史教育の課題** 会場：早稲田大学早稲田キャンパス7号館307教室(東西線早稲田駅徒歩5分) 報告：米山宏史さん(歴教協)「高校歴史教育78年ーその成果を学び、課題と可能性を考える」、松田英里さん(歴科協)「戦後80年目の現代史教育ー戦争体験に向き合うための模索」、福原伊織さん(東京歴科研)「中学校歴史教科書の記述の変化 戦後史がどう扱われているか」、大江洋代さん(歴研)「歴史総合・探究系科目の入試出題を踏まえて」 資料代：一般1000円、学生・院生500円 主催：歴史学研究会、歴史科学協議会、東京歴史科学研究会、日本史研究会、地方史研究協議会、歴史教育者協議会、東京歴史教育者協議会、子どもと教科書全国ネット21 問合せ：090-8100-1038
- ☆9月23日(火・祝)13:30～16:30 **学習会：地球沸騰化を止めるために県行政、県民が出来ることは？** 会場：かながわ労働プラザ4階会議室(JR石川町駅北口徒歩5分) 講師：歌川 学さん(産業技術総合研究所キャリアエキスパート) 参加無料 主催：平和で明るい神奈川県政をつくる会 問合せ：045-212-5855
- ☆9月25日(木)9:00～16:00 **県内基地調査・県政ウォッチ** 集合：9時に桜木町駅市役所側改札を出た広場に集合 9時15分：タワー展望場からノースドック視察 11時：横須賀米軍基地を船から視察 12時：厚木基地に向けて出発 途中のPAで昼食 14時：厚木基地の視察 15時：大和駅を經由して横浜駅西口に出発 参加費4000円(高校生以下2000円) 乗船料を含む 予約：神奈川労連・山田(電話045-212-5855、Fax.045-212-5745、E-mail:info(at)kanagawa-rouren.jp)に名前、所属、携帯電話とメールアドレス、住所を連絡ください。
- ☆9月27日(土)10:00～12:00 **第70回神奈川地学ハイキング・神奈川野尻湖友の会合同行事：国立科学博物館特別展氷河期展・人類が見た4万年前の世界の見学** 集合：国立科学博物館入口前に10時に集合(JR上野駅公園口徒歩5分、雨天決行) 案内：後藤仁敏(古生物学者) 持ち物：筆記用具、水分など 当日券：大人・大学生2300円、小・中・高校生600円 主催：地学団体研究会神奈川支部と神奈川野尻湖友の会 問合せ：電話090-7175-1911 E-mail: goto@kd5.so-net.ne.jp 後藤仁敏
- ☆9月28日(日)～29日(月) **2025年第70回日本母親大会 in 東京** 28日13:00～16:00 分科会 会場：日本教育会館・全国教育文化会館・エデュカス東京 29日12:30～15:30 全体会 会場：東京国際フォーラム・ホールA 講師：布施祐仁さん(フリージャーナリスト) 協力会員券：2日共通券3300円、1日券1800円 申込みは各県母親大会実行委員会へ 主催：実行委員会(03-3230-1836)
- ☆10月1日(水)11:00～ **防大いじめ裁判** 11時～12時半、事前宣伝、新橋駅前 14時20分、傍聴集合東京高裁前 裁判終了後、報告集会 会場：衆議院第1議員会館会議室を予定
- ☆10月12日(日)13:30～16:00 **第11回鎌倉憲法学校：歴史を逆行させない～戦後日本の岐路に立って～** 講師：渡辺 治さん(政治学者・一橋大学名誉教授) 会場：鎌倉婦人子供会館ホール(定員100人、JR鎌倉駅東口から中央郵便局右に入って突き当り、直ぐ前に見えます) 入場料800円(20歳以下無料) 申込み：kamakura9jo@gmail.comへ氏名・電話・予約枚数記入のこと Fax.0467-24-6577へ氏名・電話・FAX番号・予約枚数記入のこと 受付後、返信メール、Faxを送ります。当日、必ずお持ちください。店頭：島森書店、たらば書房 問合せ：0467-24-6596(井上) 主催：鎌倉・九条の会
- ☆11月8日(土)14:30～ **松元ヒロ ソロライブ Vol.18 in 杉田劇場** 会場：杉田劇場ホール(新杉田駅徒歩3分) 料金：前売券3500円、当日券4000円 チケットの申込み・問合せ：ホームページ <http://geinin2.syoutikubai.com/> メール：erbu(at)kf.netyou.jp

JSA 神奈川支部幹事会・発送作業 9月の支部幹事会と発送作業を以下の要領で行ないます。
日時：9月16日(火)14時30分～15時30分、発送作業は14時30分、幹事会は15時から。
会場：かながわ総研事務所(横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階、1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの5階、JR関内駅西口徒歩3分)。
オンライン参加の場合：zoom ミーティング ID:821 5758 5362 パスコード:8221132
連絡先：飯岡ひろし(携帯:080-1987-0994、E-mail:jsa.kanagawa(at)gmail.com)

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。
送り先：後藤仁敏(E-mail: goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax: 045-894-1052)